

ご復活おめでとうございます

どんな状況にあっても、時間は通り過ぎ、典礼暦もめぐっていきます。
様々な困難のさなかにおいても、神さまのまなざしはいつも変わることなく、
温かく、私たち一人ひとりに注がれています。

今年も教会で皆顔を合わせて、ご復活を祝うことはできませんが、
御ひとり子を捧げるほどに私たちを愛して下さる神さまに希望をおいて歩いていきましょう。



* 谷神父様からのメッセージ *

「あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。」(ルカ 24・6a)

主のご復活、おめでとうございます。

コロナが起こってから2年以上経ちましたが、その終息がまだ見えません。コロナの影響は私たちの一般生活だけでなく、信仰生活にも大きな影響を及ぼしています。その影響を受けた私たちは不安を抱えながら日常生活を送っています。世界中の人々が同じことを実感しているでしょう。

コロナ対策として、日本政府は何度も「緊急事態宣言」と「まん延防止重点措置」を発表してきました。埼玉県における「まん延防止重点措置」は3月21日をもって解除されました。

コロナが起こってから今に至るまで、さいたま教区はコロナに対応するお知らせを22回出しました。教区内において、小教区の主日公開ミサや活動が何回も中止されました。第22次のお知らせを受けて、私たちの小教区は灰の水曜日のミサを祝い、四旬節が始まりました。四旬節には、私たちはイエスと共に何かを犠牲にし、お祈りを大切にします。昨年、コロナの影響で、私たちは四旬節を始める灰の水曜日のミサを行うことができませんでした。

当面、私たちは主日公開ミサを祝うことはできますが、コロナの終息がまだ見えないので、教区の指示に従って、小教区の活動などを慎重にしなければならないのです。そして、私たち小教区の一人ひとりが見守られますように神に願います。

言うまでもなく、私たちの信仰の根拠は、復活されたイエスに置かれています。人間であり、神であるイエスは、私たちの罪のために亡くなりましたが、復活されて、私たちに救いの恵みと平和と希望をもたらしてくださいました。

パウロはキリスト者になる前に、キリスト者の共同体を探したり、捕まえたり、迫害したりしましたが、キリスト者となった後、熱心な使徒となって、復活されたイエスのために生き、イエスのもたらされた福音を宣べ伝えました。コリント教会への手紙の中で、パウロは次のように述べています。「キリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」(一コリント 15・14)

私たちが信仰についての誇りを持つことができるのは、私たちの信じるイエスが死んでいる神ではなく、生きておられる神だからです。使徒的勧告の中で、教皇フランシスコは次のように強調されます。「キリストは生きておられます。この方は私たちの希望、この世界で最高峰の若さです。」

復活されたイエスは一つ一つの出来事において、小教区の共同体の内におられ、私たち一人ひとりと共に歩んでくださいます。日々の生活の中で出会う兄弟姉妹を通して、イエスは私たちと同行しておられます。ご聖体の秘跡を行う度に、イエスは私たちの共同体のうちに現存されます。

嬉しいことや悲しいことがあっても、キリスト者である私たちは、神に信頼と希望を置くことができます。コロナに直面している人間である、私たちの弱さや無力さについての意識が高められ、神に置く信仰が強められたのではないのでしょうか。復活されたイエスに信頼する私たちは、不安や絶望の中に置かれても、イエスからの霊的な慰めと平和を得られることでしょう。信仰は私たちに生活の重荷や難しさを免除してくれませんが、イエスと強く結ばれた私たちにこそ、それらに対処する力を与えられます。



復活徹夜祭の福音の中で、空の墓の前に立つ婦人たちは絶望していたでしょう。彼女たちが絶望したのは、イエスのご遺体が見当たらなかったからです。しかし現れた二人の天使に、イエスの復活を告げ知らされた彼女たちは、希望を見だし、喜びながら 11 人の使徒と他の人皆にそれを知らせました。

復活祭を祝いながら、高齢や病気のために教会に来られない方々と、ウクライナの戦争で苦しんでいる人々のために、お祈りを捧げましょう。そして、どんな苦難に直面しても、私たちの心の中においでになる、復活されたイエ

スの希望の光が消えることのないように、小教区の共同体と共に歩んでいきましょう。

大宮教会主任司祭 谷 国定

<信徒委員会からのお知らせ>

1. 今後の主日のミサについて

新型コロナ対策として当面の間、3グループによるローテーションを継続いたします。

月	日	グループ
4月	24日	C
5月	1日	A
	8日	B
	15日	C
	22日	A
	29日	B

A グループ	大宮区・西区・中央区・桜区
B グループ	見沼区・緑区・北区
C グループ	岩槻区・伊奈・原市・白岡・蓮田・久喜

※しばらく主日のミサが中止されていた為、各グループのミサの日程が変わっています。よくご確認の上、ご自分の属する地区の日に教会においでください。

2. 聖週間のミサについて

- ・4月14日（木）聖木曜日ミサ : 18時～（どなたでも参加可能）
- ・4月15日（金）聖金曜日の典礼 : 18時～（ 〃 ）
- ・4月16日（土）復活徹夜祭ミサ : 18時30分～ Bグループ
- ・4月17日（日）復活の主日ミサ : 10時～ Cグループ
- ・ 〃 〃 : 14時～ Aグループ



※復活徹夜祭のミサ中、7人の方の洗礼式が行われる予定です。

受洗おめでとうございます。

受洗され、大宮教会のメンバーに仲間入りした皆様のために祈りましょう。

3. 主日のミサの特例として

ミサ後に教会委員会の各部の会議や活動がある場合、自分のグループのミサの日でなくとも、2階でミサに参加してもいいことになりました。ただし、ミサの参加者数が多く、定員を上回る場合は、その日のグループの方を優先します。

できるだけ各部の活動は日曜日以外に行うようお願いします。

「自分のグループの日は都合が悪いから、別なグループの日に参加する」など、ルールを守れない方が増えてきた場合、再度ルールを改訂し、厳しくせざるを得なくなります。そうならないように、ご協力をお願いします。（ミサの時間に遅れる方も増えてきています。早めに教会に到着するようにお願いします。）

4. ウクライナへの祈り

教皇フランシスコ「ウクライナとロシアのマリアの汚れなきみ心に奉獻する祈り」を印刷したものを受付カウンターに置きます。ご自宅で祈りたい方はお持ちください。またウクライナ支援の献金もお願いします。献金はカリタスさいたまを通じて、カリタスジャパンに送られます。

5. 献金について

現在、ミサ献金、四旬節愛の献金、ウクライナ支援献金の3つの献金箱を設置しています。今は3週に一度しかミサに参加できないため、全ての人にそれぞれの献金の意向を反映させるようにこの形にしています。各自のご判断で献金くださいますようお願いいたします。

6. 事務室のコピー機を入れ替えました

リソグラフ（印刷機）が故障したため、コピー機を入れ替えました。新しいコピー機はランニングコストを抑えられるので、印刷機は処分しました。個人で使用する場合は受付にお尋ねください。



主に呼ばれて (6)

8月になりオーストラリアに語学研修に行くことが決まりました。事務局の長嶋さんと、同じ頃サモアに看護師として派遣されていたドイル(旧姓近藤)修子さんが、サモアでの任期を終了後、オーストラリアからはやり信徒宣教者としてサモアで働いていた John Doyle (ジョン・ドイル)さんと結婚し、オーストラリアに在住していました。

事務局に手紙を書いて、安く語学研修をできる場所を探してもらっていました。西オーストラリア州の州都パースから、南東に400kmほど行ったところにあるアルバニーという町で語学研修をすることになりました。400kmというと東京から盛岡くらいの感じです。そこにあるTAFEという専門学校のようなところで、英語を勉強するコースがあるということでした。

さっそくオーストラリア大使館に留学ビザを申請するにはどうしたらよいか聞きに行きました。そろえる書類が多く、またオーストラリアの修子さんに問い合わせるのも、まだまだ国際電話が高い時代で、いちいち手紙でやり取り。手紙は片道約1週間かかるので、なかなかはかどりません。ただ、TAFEだと語学留学用のビザを取るための必要な書類が出せないということは分かりました。当時は観光ビザが1年間有効で、半年したら一度出国すれば良かったので、観光ビザで入国することにしました。観光ビザでも3か月までの語学学校での学習は認められていました。

ビザの次は、航空券です。格安航空券が今ほど知られていない時代だったので、まだまだ高かったですが、片道しか必要がないので、一番安いのがマレーシア航空でした。この当時、カンタス航空は成田からパースまで週3便就航していました。マレーシア航空だと乗り継ぎが必要になるのですが、仕方ありません。片道で13万円くらいだったと思います。

2019年末に家族でパースに行ったときは、同じくマレーシア航空でしたが、往復で12万5千円でした。今はコロナ禍で旅行ができず、飛行機があまり飛んでいないので高いですが、またコロナが終息して、安く海外に行けるようになると良いですね。

出発日も10月13日と決まり、9月はバタバタと過ぎていきました。9月末だったか10月初めだったかには、松原教会で派遣ミサもしていただきました。10月13日は、土曜日で関係者の皆さんが、成田空港まで見送りに来てくれました。この日が土曜日だったというのは覚えています。でも、どうやって成田空港まで行ったか、お金はどうやって持って行ったかは、まったく覚えていません。10月13日(土)11時ころだったと思いますが、私が乗ったマレーシア航空クチン経由クアラルンプール行きの飛行機は離陸し、日本を後にしました。

見沼区 斉藤



大宮教会クイズ No.2

～今年、大宮教会は60周年を迎えます～

大宮教会に来ている皆さんが、教会のことをもっと知って頂き、一人ひとりが大宮教会を支えていることを自覚して頂けたら嬉しいです。



今回のキーワードは「教会の地区割」です。

コロナ流行以来続いているミサのグループ分けは、みなさんの居住する「地区」を元に決められています。

連絡網の他、今はお休み中ですが、ミサの聖書朗読や奉納なども、地区ごとに当番月が回っていましたね。

Q：大宮教会は、いくつの地区に分かれているのでしょうか？

- ① 3地区 ② 8地区 ③ 10地区

→ クイズの答えは5月号で！！

1月号(大宮教会クイズ No.1)の答え → ②でした。

典礼部、営繕部、財務部、地区部、広報部、青少年養成部、成人養成部、総務部、国際交流部。
全部で9つの部から成り立っています。部員さん募集中です！



<デコレーショングループ (デコ部) 仲間募集>



クリスマス(ツリーやホールの飾り付け)や復活祭に聖堂以外の部分の飾り付けをするグループです。折り紙、工作、手芸などが好きな方(特別な知識や技能が必要なわけではありません。好きであることが大切です。)、一緒に活動しましょう!(自宅で制作も可)それぞれが持っている能力は全て神様からの賜物であり、他の人の為に活かすことを神様は望んでいらっしゃると思います。「好きなこと」を使って神さまの手足として奉仕しませんか。受付に申し込み用紙を置きます。賛同して下さる方をお待ちしています。

岩槻区 槻田

* 投稿を募集しております。FAXか郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 カトリック大宮教会 広報部宛